

舞台テレビ照明家協会 ニュース

No. 54

昭和43年1月25日 印刷
昭和43年2月1日 発行

発行者 東京都渋谷区千駄谷3丁目51番4号 舞台テレビ照明家協会 小川昇 TEL404-2611
編集者 舞台テレビ照明家協会事務局 印刷所 株式会社新宿印刷

理事推薦選出に就いてのお願い

第十三回総会は例年通り二月二十二日に開催することになりました。

総会に先立って、来年度理事候補者選出を従来のブロックで推薦者を選出していただき、事務局により候補者として総会にかけて決めることはご承知の通りであります。今期中頃で協会活動の不調是正が叫ばれ、理事、常任理事構成の点に原因があるのではないかと、事実、理事會、常任理事會の流會が（出席者過半数に満たず）多く、この点を七月十五日書面理事會を開催、常任理事改選問題等を探り上げ、全理事六十一名宛にご回答を求めたことはニュース等でご承知の通りで、その際、六十一通に対し、回答は三十七通、二十四通の多くの未回答が出た。その方々の氏名を発表してもよいがその方々は、ブロックで推薦された方々で、總會決定後、事務局より、理事就任ご依頼とお願いを書面にて差上げ確認を求めましたが、この方々が協會に対し余りにも無関心、無責任は如何なる理由であるか、また常任理事は理事會よりの推薦決定するもので、理事會こそ運営機關の母体ともいえ、それが固まらなければその先はおして知るべきだと思ふ。

また、今期はしばしば協會の性格論が論争されたが、この点についても、その路線を打出すにせよ、理事がブロックの意見を協會に反映すべきで、ブロックなりの性格論が打出されて、初めて協會運営に反映されるものだと意見も出ている。また来期は協會の組織がえの問題が協議會席上で発言があり、夫々の協會が十年を経ている現在、今や三協會が一つになり、全国一本の単一組織になる時期であると要望され、これに対する受入れ態度も検討される時点で、これに伴い、ライセンス問題、ハンドブック問題、万博問題等々と山積している現在、何んとしても理事活動の双肩が協會活動の活性化に繋がるのではないかと考えられ、この点充分に考慮に入れて、有名無実でない実行力ある理事を選出して、流會のない理事會を構成する方々を是非、推薦選出して下さるようお願いする次第です。

なお、先般の常任理事會の席上で、推薦選出届を締切期日まで、出さないブロックは、理事候補者なしと解釈して、そのブロックの候補者を事務局で上提しないことが決議されましたので、この点充分にご注意されますよう。また理事數も先記のことを考慮していただければ、おのずから少數となり、少數精銳になるのではないかと考えられます。何卒、協會員の良識と奉仕とで、流會のない、実行力ある理事を是非推薦選出していただくよう、重ねてお願い申し上げます。

総 会

四十三三年二月二十二日
午後八時より

懇 親 会

同日
午後九時三十分
より

出・欠

委 任 状

の 提 出 は

二 月 十 六 日 迄

舞台テレビ照明家 協会總會

於 歌舞伎座 地下大食堂

座談会・最近のスタジオ照明(3)

テレビジョン四月号より

於 都市センター
昭和四十一年十月二十五日(火)

カラースタジオの電力

司会 そうしますと、いままでの白黒のスタジオをカラー化する場合照明設備はどうしても増やしてやらねばならないのでしょうか。その辺は、これからカラー化される計画をお持ちのところ、方針なり何なりありましたらお話しを伺いたいと思います。

青木 私のところも、白黒スタジオをカラー化するときには、電力容量も、パトンの一本当りの容量も増やしましたけれども、効率のいい光源が出てくれば、白黒の照明設備でもいけるのじゃないかというような気がしますね。

伊藤 NHKの実績では、カラー実験放送当初のカメラにくらべて感度が上がってきておられますので、放送センターの設備電力は 3.3m^2 当り 2KW にしましたが、これで充分です。照度を測りますと、ピークは 200lx 暗いところは 50lx という値で放送しております。将来は、白黒とまったく同じ電力でカラー放送ができると思っています。

NHK技術現業局/菅波志女君
(司会)

NHK技術現業局/高島昭君
(編集長)

東京大学/滝保夫君
フジテレビ/島山所弘君
読売テレビ/藤川敏雄君

なる。そしてやがては、白黒と同じ電力でカラー放送ができるような気がするわけです。

藤川 私のはうでは、白黒スタジオをカラーと共用のものに改造したのですが、電力に大変制約があったわけです。当初は 3.3m^2 当り 2KW 必要といわれておりましたね。それでいきますと、とうていカラー化できない。そこで光源の高効率化もおいおい進んでくるだろう。カラーカメラの感度も良くなってくるだろうということに期待をかけて 2.5KW という線を出した。

石塚 伊藤さん、われわれもこれからカラーをやらなければならないのですが、 3.3m^2 当り 2KW というのはスタジオの床面積に対してですか。

伊藤 そうです。ホリゾン트가ありませんが、ホリゾン트照明用の電力も全部含めて 3.3m^2 当り 2KW になります。

高島 私どものスタジオは、最初からカラー用として設計してあったのですが、今回はプランピコンカメラによってカラー化することを検討したわけです。このカメラは絞りが $F4$ 、 2000M で使うことを基準として、ホリゾン트의必要とする明るさが一番基本になった。ホリゾントライトにカラーフィルターをかけて、そのときに必要な照度が得られるための設備を考えて、ホリゾン트의反射率を上げるとともに、カラーチェンジのためのホリ

ゾント専用調光装置と器具を増強しました。

伊藤 ホリゾン트의色というものは、黒になっただけで白になっただけで一番いいんですけれども、それは不可能である。それでは反射率をどのくらいにしたらよいかということで、当初、人間の顔の明度と同じか、少し暗めというような基準で、同じような照明を当てても、人間の顔のほうが、ちょっと白く見えるというようなことから出発したように思うのです。のちになって、輝度設計の考え方から、ホリゾントと顔の照明を別々にすれば、ホリゾントの明度は高いほうが良いということ、いま私どものカラースタジオでは 80% を超える反射率($Z\infty$ 以上)を採用しています。

そのメリットは、まずホリゾン트의電力が少なくてすむ。それから、効果照明が大変明るく出てくる。たとえば、従来明度 $Z-1$ のとき、 1KW の電球で照明していたものを 50W と半分に落とすことができた。したがって、色フィルターの寿命も長くなるし、大変好評を得ています。

藤川 それはカラー専用スタジオですか伊藤 白黒もこれから全部この考え方にしたいと思っています。

司会 床の明度はホリゾントと同じだと考えてもいいですか。床の場合は、現在の照明法ですと上からくる照明が多いで

昭和41年度決算書

日本照明家協議会

41年9月1日～42年8月31日迄

収 入 の 部			支 出 の 部		
月 日	科 目	金 額	月 日	科 目	金 額
9. 1.	前年度繰越金	312,070	10. 5.	中部会報仮払い送金料	125
10. 5.	利 息	1,952	11. 7.	関西へ決算書送付速達料	85
12. 12.	中部会費 40.7～41.6 (97名)	20,560	12. 13.	文 具	200
12. 20.	関西会費 41.7～41.12 (210名)	25,200	12. 13.	中部速達料	65
12. 20.	東京会費 41.7～41.12 (370名)	44,400	12. 16.	中部速達料	65
12. 27.	電照社会報1号広告料	20,000	12. 20.	岡田氏協議会旅費	6,660
12. 27.	“ 維持会費 41年9月分	5,000	12. 20.	関西速達料	65
12. 27.	“ 維持会費 分納分第1回 (37.9～41.8迄 240,000の分割払い)	1,000	12. 21.	維持会費請求書4書件送料	60
2. 10.	丸茂電機維持会費 40.9～41.8	96,000	12. 22.	会報5号	109,610
2. 10.	“ 会報5号広告費	30,000	12. 23.	収入印紙	100
2. 16.	電照社維持会費 41.10月分	5,000	12. 23.	切 手	225
2. 16.	“ 維持会費 分納分第3回	1,000	2. 10.	集金車代	420
2. 16.	バグナル維持会費 40.9～41.8	36,000	2. 21.	表 札	1,300
3. 18.	電照社維持会費 41.11月分	5,000	2. 21.	車 代	200
3. 18.	“ 維持会費 分納分第3回	1,000	6. 10.	丸茂, 遠山両氏受賞祝	33,000
3. 27.	“ 維持会費 41.12月分	5,000	6. 10.	同上車代	140
3. 27.	“ 維持会費 分納分第4回	1,000	8. 3.	記号ゴム印原版代	900
4. 10.	利 息	2,354	8. 10.	記号ゴム印50組	33,000
4. 28.	松村電機会報5号広告料	20,000		小 計	186,220
6. 10.	電照社維持会費 42.1, 2月分	10,000			
6. 10.	“ 維持会費 分納分第5,6回	2,000			
6. 26.	東京舞台照明維持会費40.9～41.8	12,000			
7. 12.	電照社維持会費 42.3月分	5,000			
7. 12.	電照社維持会費 分納分第7回	1,000			
8. 10.	丸茂電機維持会費 41.9～42.8月	96,000			
8. 28.	電照社維持会費 42.4月分	5,000			
8. 28.	“ 維持会費 分納分第8回	1,000	8. 31.	次年度総繰越	578,316
合 計		764,536	合 計		764,536

未精算金

維持会費	バグナル(41年9月～42年8月)	36,000	会費	東京	42年1月～42年8月
維持会費	東京舞台照明(“)	12,000	会費	関西	“
維持会費	電 照 社(42年5月～42年8月)	20,000	会費	中部	41年7月～42年8月
維持会費	電 照 社(未納分)	232,000			

すから、どうしてもホリゾンより勝ちますね。ですから、多少床の明度は落とし気味でもいいのじゃないかと思えますね。いま伊藤さんがいわれたように、ホリゾンの反射率はカラーの場合、高いほうがいいようですね。ホリゾントライツという別の照明でどうにでも調節できるわけですから。

伊藤 最初はだいぶ反対もありましたし、不安だったのですが、やってみると大変良かったですね。

藤川 私のほうは反射率は50%です。というのは、白黒とカラーが共用しているので、白黒のナイトシンのときに照るんじゃないかという懸念がありました。で、ちょっとまだ思い切れないのですが、カラー専用なら、もっと上げたいと思うのですが……。

カラー照明と色再現性

司会 カラー照明の場合、色の効果を期待して照明を考えないといけないのですが、そういう効果が、現在のカラーカメラなりブラウン管なりで思うように再現できるものでしょうか。色再現性の問題なんです……。

高島 やはり顔の色というのを一番重要視しなければいけないのじゃないか。その次にカラーライティング、雰囲気というのを重視していく、というふうに進んでいくのだろうと思います。

伊藤 顔の色というのは、なかなかやっかいですね。記憶色に忠実にといいますか、誰でも好むような色に再現しなければいけない。

高島 それで、キーライトの方向のカメラアングルに対して度の方向からのカットバックがあるようなときには、必ずフィルライトで押えなければいけない、というふうな発展していくのだと思います。

伊藤 さてその辺なんですけれども、たとえば90度カメラ方向が変わる、正面から撮れば顔の色が非常によく出ている。横から撮れば確かに暗くなって色が変わるわけですが、最近の経験では顔の色というのはどこか一カ所見えておればいいのじゃないかというふうな気がするんですけれども、どうでしょうか。

司会 それはちょっと大事な話ですね。顔にはいつも忠実な色再現をするような照明が必要なのか、あるいはそれほど厳密ではなくて、一部分でも肌色が出ておればいいのか青木さん、その点はいかがですか。

青木 そうですね、私のところも顔の肌色ですか、これをとにかく忠実に再現しようということですね。

司会 意地の悪い質問ですけども、ナイトシンの顔色はどうなさいですか。青木 やはり普通の顔色ですね。昼と同じ顔色です。ただキーライトが多少強調

されますから、フィルライトは昼よりはある程度押えるわけです。

藤川 ナイトシンの場合は、周囲は色をつけてもいい。顔だけはブルーになってはいかぬと言っております。しかし、どの方向から撮っても顔色はいつも正しく出ているということではなくていいと思います。フィルライトの当たっていない横顔を長時間アップで撮られると問題ですが、あるカットでそういう色が出て、かえって効果があるのじゃないか。ただし、正しい色をどこかに出すということは考えております。

伊藤 実際の放送で、キーライトをしぼると色温度が大幅に変わるはずですが、受像機を適当な環境で見っておりますと、相当変わってもわからないですね。理論的には、色温度が変わったら色が変わることは事実ですけども、人が見て満足するような肌色であればいいということであれば、色温度が多少変わってもさしたくないようです。

青木 ただ、顔色が変わってもいいというところは、われわれのもつ肌色が青になってしまったり、赤になってしまったりというのじゃなく、シャドウはシャドウとして視聴者に訴えられるなら、それでもいいと思います。フィルライトがないためにそれが異状色になってしまったというようなことではなければ、それはかまわないと思いますね。

照明の作業能率改善策

司会 最後に、照明作業能率向上のための諸対策と、将来構想について伺いたいのですが、照明というたとえば脚立作業のような原始的な作業がついて廻っているような印象を受けるのですが、あれはしょうがないものではないでしょうか。

青木 あれは修正作業といえますか、ライトの方向を修正する、ドライリハーサルを見て、その動きに対してスポットを修正するというようなこと。それから、セットがあってパトンが降りない場合、そのパトンにどうしても器具を吊りたいということになると、脚立作業というのはある程度避けられないのじゃないか。NHKさんの一点吊り方式ですか、ああいうものがもう少し形が変わって、と、脚立作業はなくてすむようになるかも知れませんが。

藤川 フロアーでなくてグリッド上でセッティングしまして、修正をポールオペレーションというところで、器具自体もそういう構造に変えればできるかもしれないが、それが果たして能率が上がるかいい照明ができるかということが問題ですね。

司会 一点吊り方式で脚立作業が解消されて、良い照明ができるものですか。伊藤 照明の作業というのは、青木さんも言われましたが、目的的位置に灯具を

移動する仕事かどのくらい必要かという問題と、それから、方向の調整、いわゆる微調整、そのつに分かれると思うんですよ。まず何ととっても、移動というのが一番作業を大きくしている。

そこで私どもの考え方は「キログラムメートルの削減」ということをいっている。要するに器具を非常に軽くするかあるいは動かす距離を少なくする。きわめてあたりまえの話ですけれども、器具は軽量化するとしまして、移動については、いろいろな器具の種類があるから

動かすのだ、全部が多目的であれば動かさないでよろしいという考え方が種類が違ってもいいから沢山置けばよろしいという考え方、これは物量作戦なんですけれども、それによってスタジオの回転が早くなれば、それからの利益というものも考えられるという、2つの方向があるのじゃないかと思えます。もうちょっと夢のようなことを考えれば、何か信号を出したら器具が動いてくれるというようなこともできると思えます。

放送センターでは、照明器具の器種を統一して数も多量にして、なるべく移動を少なくする。こういうような形で進んでおります。さらに将来は、スポットとフラットを兼用できる灯具があれば解決すると考えて開発を進めています。

高島 バトンシステムは非常に便利なものだと思っております。器具置き場であって

しかもそれから電力を供給できるということで、非常にいいのですが、何しろ長いものですか、端がぶつかって下まで降せないということがある。器具置き場と電力供給装置とを何とか別にしたらいのじゃないかということも考えてみたことがあるのですが、要するに照明プランといいますが、テクニク上の問題と設備の改良という問題と、両方から検討を進める必要がありますね。

司会 いま、キログラムメートルという話しが出ましたが、メートルをゼロにすればキログラムはいくら大きくてもいいわけですね。それとも、やはり両方とも小さくならないとまずいですか。

照明プランと作業能率

司会 照明プランでもって作業を軽減するようなことは考えられますか。

藤川 ありますね。いま一番やかましく言っているのは、プランニングを確実にやるということです。そうすると、修正などの時間や、大勢の人の待ち時間が少なくなるので、全体的に見て非常に大きな利益になる。それには、演出の仕方とか台本とかいろいろな面で障害はありますけれども、とかく実行する。そしてプランニングを完全にやる。そのためには

スタジオの平面図も従来は「200」を使っておりましたが、「200」に変えるとか、フロアの青図でも照明のバトンの位置を全部記入させたものを作るとか、そういうことで修正時間というのはほとんどゼロに近くなっております。

青木 うちの場合は、労務管理上仕込み作業は外注しております。ドラマ、ミュージカルものをやらせておりますが、プランナーが演出と打ち合わせてプランニングをして、それを仕込みのチームに渡すわけです。

司会 外注にしても、将来はだんだん人件費が高くなる。そういう心配はないでしょうか。

高島 いまの人手、人数という点からいえば、今後人件費がだんだん上がってくると、時間のファクターが非常に高くなってきておりますので、これからは人数を減らして少ない時間ということになってきますと、どうしても設備の改良に結びつかざるを得ないのじゃないかと思えます。

伊藤 多人数の短時間、少人数の長時間というのが常識ですけれども少人数の短時間ということになると設備ですね。ところが、さて設備となると、自動化というところは考えるのですけれども、たとえば踊り手のあるスポットライトが自動で追いかけるとしまして、照明というのは、その踊り手よりも少し早く行かな

ければいけない。遅れたら目立ってしまう。しかし踊り手の動きを予測する情報を得るのは大変困難で、どうにも自動化できない面もある。それから、プランを確実にするにしても、照明プランの基になっている先行条件は、演出の条件であり、セットの条件である。そちらがしっかりしてくれないければ、どうにもしようがないという問題がある。

藤川 プランニングを確実にするということは、演出面とかセット面の障害も排除しなければならぬということが、当然伴ってくるわけです。うちではその方向で相当改善されましたね。

伊藤 それから、修正についてはこんな問題もありますね。たとえばキーライトの位置を5日修正しろといえば大変意地悪だが、10日だったらどうであるか。そういうことで、われわれは、30日それは以上でなければ動かしえないということにしたわけです。とかく芸術的になってきますと、大変わずかな量を要求してくる。その辺、どこまでもテレビの照明の内容というのが個人の好みを許すか、問題じゃないかと思えますが……。

電子調光装置と将来の照明

司会 最近、電子調光が出てきて自動化と結びつたくなるのですがその辺の将来構想はいかがですか。

高島 多段プリセットが可能になってき

たということ、脚光を浴びたわけですけれども、今後はその自動化ということになりますと、同じ演し物を長くやる劇場なんかでは大変いいのじゃないかと思いますが、テレビにも映画のようにカット撮りの手法が導入されてくると、多段プリセットはいらぬのじゃないかという考えもあります。テレビの場合は、自動化ということではなしに、少ない人手で早くできるという方向が期待されま

すね。
司会 高島さんのお話しでは、多段プリセットはいらぬのではないかとこのことですが、いかがでしょう。

石塚 一時間ドラマなんかをやる場合、非常にシーン変わりが多いとどうしても変化させられないようなときは、そこでVTRをストップしてもらおうというようなことをやっておりまして、そのような場合は多段プリセットが欲しいですね。
青木 プリセットしておけば、クロスフェードするだけで簡単にできる。

藤川 ミュージカルなんかシーン転換の妙味というものが有りますから、非常に便利ですね。私のほうでは、また別の使い方として、電力が非常に少なかったらで不要なシーンを全部消してしまふ。多段切替えて電力不足をカバーしたということなんです。将来はカット撮りが増えてくると思いますが、映画のようにカメラが一台というわけではない。二

台、三台のカメラを切り換えて連続して撮る。そうすると、カット撮りの中でも必ず照明による変化が必要だと思ふのです。

伊藤 私どものほうで、半導体の調光装置を入れて、これまでのお話しのほかにもうひとつ確認できたことは、補修費というふうなものが、オートトランスにくらべて格段に少ない。ほとんど故障がない。これは将来の設備として大変な利点だといえますね。

高島 調光装置のほうは弱電制御になって、ピンボードとかリレーを使つてのソフトラッチの機械になってきたわけですが、スタジオのほうでは相も変わらず重い器具をもつて脚立に登つて何十アンペアという大電力を扱っている。これからの照明では、スタジオ側の機構なり器具なりにもう少し目を向けていかないと、ちょっとアンバランスじゃないかということですね。

司会 本日はお忙しいところを、有益なお話を伺わせていただいて、どうもありがとうございました。

第九回常任理事会開催のお知らせ

日時 二月十三日(火) 午後二時
 場所 中央区立銀座東区民館
 議題 総会に提案事項について

お知らせ

厚生年金会館では舞台関係技術者の技術向上と、貸しホールの運営向上の目的で、第三回の実験劇場が二月十四日に公開される。多くの方が参観され、大いに批判下されば、当事者の技術向上に役立つとの要望がありました。公演要項は次の通り。

第三回実験劇場「地獄」

日時 二月十四日(水) 午後二時
 場所 東京厚生年金会館大ホール
 入場 舞台テレビ照明家協会員大歓迎

目的 貸ホールにおける舞台管理と運営に日夜従事する技術者(照明、音響、大道具等)に関するプランニング及操作製作(一切)の技術向上と親睦を図るを目的とする。なお、日頃舞台上公演等におけるあらゆる制約に対する挑戦であり可能性への実験である。例えば手不足の時点で人員を限界まで、少数にして、日々の公演が可能かまた多目的貸ホールでの公演時間(準備時間を含む)の制約下における諸問題等を盛込んで舞台管理と運営問題にウエイトをかけた。昨年は設置された既設備の施設のものをいかに利用して効果的に活かすかにウエイトをかけて一応成果を上げた。上演プログラム「地獄」の五章に別れて「戦争、情念、執念生活」を各テーマにして、現代の諸問題を採り上げ、照明、音響、大道具をフルに活用して制作したもので、

第一章 血の池地獄(戦争)

今日も賽の川原は血で一杯/血は血を洗う殺伐な戦死。
 「はい誠に名譽な戦死です」老婆の胸にはキンシ勲章だけが輝いていた。

第二章 炎の地獄(情念)

愛——あなたと二人
 花——あなたと二人
 恋——あなたと二人
 夢——あなたと二人

すべてのものを焼きつくす火葬場の釜の中は焦熱地獄/肉塊の一グラムも残さず焼きつくす。
 カラカラの骨が一つ……、二つ……。

第三章 水地獄(現代の執念)

女はただ美しくありたいと願う……。願う心は科学する。冷たく閉ざれて氷の世界への科学のメスはひらめく/明日の夢をものはなくなえて——/ドロクロの彼方に執念の鬼と化する。

第四章 ビラニヤ地獄(生活地獄)

夜が来る。脾肉をむさぼるドス黒い悪魔達/団地が並んで蟻の群は不気嫌な顔つきの疲れた足で、急ぎ足で、集り消えてゆく。

第五章 現代の地獄(新宿)

賛成/反対/エンタープライズ、ベトナム戦争。物価の値上り。駅前広場から始まってネオンと車の洪水に押し流され拡がって行く時。そこには地獄の一丁目も二丁目もある。

第六回理事会

日時 一月十日午後二時

場所 中央区立銀座東区民館

出席者 前田、小川、齊藤、塚原、阿部

稲垣、今井、小林、秋本、

吉田、原、土村、梶田、大田。

連欠 大庭、大杉、大森、工藤、牛丸

大石、小倉、小厚、丸岡、和田

岡田、岩淵、植村。

二時三十分議長、会長で開会。

議題

一、四十二年度決算、四十三年度予算案
報告及審議

決算報告を事務局長が報告、質疑応答
があつてこれを承認、この際賛助会員
の取扱方法について事務局に集金方法
についての事項を調査するよう、申入
れがあつた。また、福祉厚生委員会供
出金についても、調査、納入方法に改
善方が依頼された。

この報告を総会に提出することに了承。
承。続いて来期予算案を審議し、これ
を制作、総会に理事会案として提出す
ると承認。

二、協議会報告

十二月二十三日名古屋にて行なわれた
協議会の報告と要請が議長より発言さ
れた。

イ、協会の一本化について

中部、関西よりこの数年、全国的に考

える問題が多くなつたので、協議会で
なく、協会を一本にして、各地区を支
部制にし、地域事情を考慮して支部活
動が自主的に活動されるようにし、例
えば名古屋で開催された展覧会の全国
移動、ライセンス問題、リンク制の問
題等を地域別に決めても力が弱く、こ
れを全国的に統一したらもっと照明家
の地位も高まるのではないか。また
協会への入会資格も地域ごとによま
ちの点もあり、照明家の技術料も地域
により違いもあり、これもゆくゆくは
統一の方向に進めたい意向もあり、こ
の際、全国統一に推進させるよう各地
で検討されることを要望する発言があ
つた。

ロ、万博に対する照明家協会の意欲統一
関西より万博に照明家協会として協力
体制をとる要請があつたが、わからな
い点が多々あるのでこの機会にこの点
の事情をくわしく知ることが大事なの
で、一応、協会は協力するが、この点
充分考慮し、慎重に対策をきめること
にした。

ハ、中日ビルで開催された照明展覧会の
開催を東京、大阪で行なわないか、
非常に充実された展覧会であつたので
名古屋であつた二ヶ所、移動開催され、
そのあと手を入れて、東京、大阪で開
催できないかとの申入れがあり、これ
を検討することになった。

二、四十一年度決算報告、別紙参照
三、新入会審査
会田昌昭さんフリーV

経験五年、阿部吉之助正会
員紹介審査の結果、これを
承認、一月より入会。

四、理事選出方法について

各理事より理事選出方法の一つとして
ブロック編成案を求めたところ、職域
制区別が多く、また地域別は無理、ま
た事務ブロックと別に選出用ブロック
をつくることは一層複雑にするからと
反対案が出され討議の結果、職域部会
の活動の活性化に落つき、選出は従来
通り各職域で選出して、これを総会に
かけて審議することになり、今年の特
に返答ないところ、理事の必要ないと
認めて、事務局でこれを候補者として
総会に提出しないことに決めるよう申
入れがあり、これを了承。

事務局通信

会員消息

遠山静雄 東芝電設ガイドに「アメリカ

カの舞台照明」と題した論

文を投稿。

所属変更

塩見伯方 有馬照明よりフリーに。

野田政則 有馬照明よりフリーに。

退会

河野幹雄 有馬照明所屬。

43年度理事候補者選出届

2月18日迄に

従来通りの各ブロックで推薦選出して下さい